

JAF公認国内競技 2016-2305
2016年JAF中部・近畿ラリー選手権 第6戦
2016年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ 第4戦
2016年JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ 第4戦

第32回 シロキヤラリー in 豊根

特別規則書

Supplementary Regulations

開催日：2016年10月1日～2日

主 催： チームシロキヤ
共 催： トヨタオートスポーツクラブ
共 催： モータースポーツチームPUMA

協 賛： ダンロップタイヤ中部株式会社

後 援： 一般財団法人茶臼山高原協会
豊根村観光協会
豊根村商工会

2016年JAF中部・近畿ラリー選手権 第6戦
2016年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ 第4戦
2016年JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ 第4戦
第32回 シロキヤラリー in 豊根

目次

第1条	競技会の名称	3
第2条	競技種目	3
第3条	競技の格式	3
第4条	開催日程および開催場所	3
第5条	プログラム	3
第6条	競技会本部(HQ)	4
第7条	競技内容	4
第8条	オーガナイザー	4
第9条	組織	5
第10条	参加車両	5
第11条	クルーの装備品	7
第12条	クラス区分	7
第13条	参加資格	7
第14条	参加台数および参加受理	7
第15条	参加申込および問合せ先(大会事務局)	8
第16条	保険	9
第17条	レッキの実施方法	9
第18条	タイムコントロール	9
第19条	スペシャルステージ	9
第20条	整備作業	10
第21条	賞典	10
第22条	成績	10
第23条	付則	10
付則1	暫定ITINERARY(ラリー行程表)	11
付則2	CRO	12

公示

本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟(以下「JAF」という)の公認の元に国際自動車連盟(FIA)の国際モータースポーツ競技規則とその付則、それに準拠したJAFの国内競技規則とその付則、2016年日本ラリー選手権規定、ラリー競技開催規定、2016年JMRC中部ラリーシリーズ戦規定、2016年JMRC中部ラリー共通規則及び本競技会特別規則に従い準国内競技として開催される。

第1条 競技会の名称

2016年JAF中部・近畿ラリー選手権 第6戦 (以下「地区戦」と記載)

2016年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ 第4戦 (以下「チャンピオン」と記載)

2016年JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ 第4戦 (以下「チャレンジ」と記載)

第32回 シロキヤラリー in 豊根

第2条 競技種目

ラリー競技開催規定付則「スペシャルステージラリー開催規定」に従ったスペシャルステージラリー

第3条 競技の格式

JAF公認準国内格式 JAF公認番号:2016-2305

第4条 開催日程および開催場所

開催日程: 2016年10月1日(土)~2日(日)

開催場所: 愛知県北設楽郡豊根村・設楽町地内

ラリースタート: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場

ラリーフィニッシュ: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場

第5条 プログラム

参加申込の開始日: 2016年9月2日(金)

参加申込の締切日: 2016年9月16日(金)

サービスパークオープン

日時: 2016年10月1日(土)8:00~18:00

2016年10月2日(日)5:00~18:00

場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場

サービスパーク閉鎖

日時: 2016年10月1日(土)18:00~2日(日)5:00まで

レッキ受付

日時: 2016年10月1日(土)8:00~8:30

場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場

レッキブリーフィング

日時: 2016年10月1日(土)8:30~8:45

場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場

レッキ

日時: 2016年10月1日(土)8:45~15:30(予定)

参加確認、サービス受付

日時: 2016年10月1日(土)12:00~16:00

場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場内 HQ

ロードブックの発行

日時: 2016年10月1日(土)12:00

場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場内 HQ

公式車両検査

日時: 2016年10月1日(土)15:00~17:00

場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場内

第1回審査委員会

日時：2016年10月1日(土)17:00～

場所：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場内 審査委員会室
ドライバーズ・ブリーフィング

日時：2016年10月1日(土)17:30～

場所：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場内
スタートリストの公示

日時：2016年10月1日(土)17:30(予定)

場所：公式掲示板(茶臼山高原スキー場内)

スタート

日時：2016年10月2日(日)7:00(1号車予定)

場所：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場
ラリーフィニッシュ(1号車)

日時：2016年10月2日(日)12:00(チャレンジ 予定)

日時：2016年10月2日(日)16:00(地区戦・オープンクラス 予定)

場所：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場
暫定結果発表

日時：2016年10月2日(日)16:30(予定)

場所：公式掲示板および表彰式会場 茶臼山高原スキー場内

表彰式

日時：2016年10月2日(日)17:00(予定)

場所：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場内 レストラン

第6条 競技会本部(HQ)

所在地 名称：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場内

開設日時：2016年10月1日(土)8:00～18:00

2016年10月2日(日)5:00～18:00

第7条 競技内容(予定)

1. 競技内容：スペシャルステージラリー
2. 指示速度走行区間：無
3. 総走行距離：約160km(地区戦・オープンクラス)
約80km(チャレンジ)
4. スペシャルステージ：有
5. スペシャルステージ路面種別：舗装路面
6. スペシャルステージ総距離：約47km(地区戦・オープンクラス)
約29km(チャレンジ)
7. スペシャルステージの数：5(地区戦・オープンクラス)
3(チャレンジ)
8. セクションの数：2(地区戦・オープンクラス)
1(チャレンジ)
9. サービスの有無：有(地区戦・オープンクラス)
無(チャレンジ)
10. 競技中の指定給油所：有(地区戦・オープンクラス)
無(チャレンジ)

第8条 オーガナイザー

名称：チームシロキヤ(JAF加盟クラブNo.23017)

所在地：〒473-0908 愛知県豊田市宝町玉泉80番 (有)エスアールエス内
TEL:0565-28-6524 FAX:0565-29-9466 E-Mail:srs@hm.aitai.ne.jp

第9条 組織

1. 組織委員会

組織委員長 金子 敏邦 (SHIROKIYA)
組織委員 杉原 慶彦 (SHIROKIYA)
組織委員 新堂 啓太 (SHIROKIYA)

2. 競技会審査委員会

審査委員長 長坂 眞澄 (JMRC中部派遣)
審査委員 小牧 靖昌 (JMRC近畿派遣)

3. 競技役員

競技長 金子 敏邦 (SHIROKIYA)
副競技長 新堂 啓太 (SHIROKIYA)
コース委員長 金子 敏邦 (SHIROKIYA)
計時委員長 勝股 宗弘 (SHIROKIYA)
技術委員長 小林 成広 (SHIROKIYA)
医師団長 加藤 禎洋 (RTN)
事務局長 鈴木 眞由美 (SHIROKIYA)
JMRC中部救急認定委員 山口 清司 (TASC)

4. コンペティター・リレーション・オフィサー

CRO 香川 秀樹 (MASC)

第10条 参加車両

<地区戦> (後に示す共通項目も確認のこと)

- 2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に定めるRN/RJ/RR/RPN/RF/AE車両。
- 過給器付きエンジンにおけるエアリストリクターの装着は任意とする。
但し、エアリストリクターを装着する場合、そのサイズは最大内径33mm(外形:39mm未満)とする。
エアリストリクターを装着しない場合は、エンジンコントロールユニット(ECU)の変更、改造を認めない。
- 最低重量については2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第1章第7条による。
- ランプポッドを装着する際は、RF車両も含めて2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第3章第10条10.2)に従うこと。
- すべてのRF車両、RPN車両及びAE車両は、下記のロールケージを装着すること。
 - 6点式+左右のサイドバーを基本構造としたφ40のロールケージを装着しなければならない。
 - 気筒容積が2000ccを超える車両については少なくとも一本の斜行ストラットを取り付けること。

<チャレンジ>

- 2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に従ったRN/RJ/RF/AE/RPN車両並びに、2002年JAF国内競技車両規則第3編ラリー車両規定に従って製作された車両(RB車両)で下記のすべての条件を満たしたもの。
 - 2002年12月31日以前に運輸支局等に初年度登録された車両であること。
 - FIA公認車両またはJAF登録車両であること。FIA公認車両とJAF登録車両の両方の資格を有する場合は、JAF登録車両として取り扱う。
 - 6点式以上のロールケージを装着していること。
- ランプポッドは装着禁止とする。但し、メーカーラインオフ時に走行用前照灯が2灯式である車両については、道路運送車両法を遵守することを条件に、走行用前照灯2灯の追加が認められる。なお、走行用前照灯を追加する際のボンネットの加工は一切認めない。
- リストリクターの装着は義務付けない。
- リストリクターの装着時を除き、ECUの変更および改造は一切認めない。

<オープンクラス>

- 地区戦に従う。但し、全クラス共通規定の9.に記載するタイヤに関する制限は設けない。

<全クラス共通>

1. メーカーラインオフ時に装備されている安全ベルトに加え、2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第2章第2条に定める4点式以上の安全ベルトを装備していること。
2. エアクリーナーケースの加工は一切認められない。エアフィルターについては純正品以外への変更が認められる。
3. 三角停止板2枚、赤色灯、非常用信号灯(発炎筒)2本以上、牽引ロープ、A3サイズのSOS/OKサイン2枚および救急用品を搭載すること。これらは走行中に浮遊物とならないように、確実に固定すること。
4. 少なくとも2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第2章第3条3. 1)に定める手動消火装置を装備すること。
5. ホイールおよびタイヤについては、2016年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第3章第6条に従うこと。なお、RF車両はRJ車両規定に従うこと。
6. AE車両については、2016年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第5章AE車両用改造規定に定める通りとする。
7. RPN車両については、2016年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第4章RPN車両用改造規定に定める通りとする。
8. マフラーについて、保安基準適合品への変更を認めるが、如何なる場合においても排気ガス規制値を厳守しなければならない。経年変化・変形等の為、音量規制値を上回る事は許されない。参加者は、使用するマフラーについて主催者が求めた場合、保安基準適合品である事を証明出来るように必要な書類等を完備する事。
9. 下記の例に示す様な、通称Sタイヤの使用を禁止する。詳細は技術委員長判断による。

Sタイヤの銘柄例

タイヤメーカー	ブランド名	使用禁止タイヤ銘柄
ダンロップ	DIREZZA	93J/98J/01J/02G/03G
ブリヂストン	POTENZA	520S/540S/55S/11S
東洋ゴム	PROXES	FM9R/08R/881/888/RR
横浜ゴム	ADVAN	021/032/038/039/048/050
クムホ	ECSTA	V710
ハンコック	Ventus	Z214
メーカー問わず	海外メーカー製造の通称Sタイヤ等。	

上記以外のタイヤでもSタイヤに準ずると判断された場合、猶予期間を待たず使用を禁止する場合がありますので注意すること。

第11条 クルーの装備品

1. 安全ベルトは必ず装着し、タイムトライアル区間やオーガナイザーの指示がある場合は必ず4点式以上の安全ベルト、ヘルメット、グローブおよびレーシングスーツを着用すること。但しコ・ドライバーについてはグローブの着用を免除する。
2. ヘルメットおよびレーシングスーツは、2016年のJAF国内競技車両規則第4編付則「ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則」に従ったものとする。
3. 上記1. の場合以外でも、競技中は長袖長ズボンを着用すること。

第12条 クラス区分

<地区戦>

DE-6クラス: 気筒容積 2500cc を超える 4 輪駆動車両 (RN、RJ または RF 車両)

DE-4.5クラス: 気筒容積 1500cc を超え、2500cc 以下の 4 輪駆動車両 (RN、RJ、RPN または RF 車両) 及び、気筒容積 1500cc を超える 2 輪駆動車両 (RN、RJ、RPN、RR または RF 車両)

DE-3クラス: 気筒容積 1500cc 以下の車両 (RN、RJ、RPN または RF 車両)

<チャレンジ/オープンクラス>

気筒容積/駆動方式および車両区分 (RN/RJ/RB/RF/AE/RPN) によるクラス分けは行わない。

第13条 参加資格

<地区戦>

1. 2016年JAF発給の国内競技運転者許可証B級以上を所持していること。
2. JAF中部・近畿地域クラブ協議会加盟クラブ員であり、かつ各クラブ代表者が責任をもてる者であること。但し、参加台数に余裕がある場合は他地域からの参加を妨げない。
3. 1チーム2名限定とする。
4. ドライバーおよびナビゲーターは、参加申込締切時点で当該車両を運転するに有効な運転免許証を取得後1年以上経過していなければならない。
5. 上記2. 以外の者においても、所属する地域クラブ協議会の共済会もしくはそれに準ずる制度に加入していることを条件に参加を認める。
6. 20才未満の参加者は、親権者の承諾書を主催者に提出しなければならない。
7. 参加資格について疑義がある場合は、その証明責任は参加者にあるものとする。

<チャレンジ>

1. 2016年JAF発給の国内競技運転者許可証B級以上を所持していること。
2. ドライバーはドライバーとして、過去5年以内のJMRC各地区のラリーシリーズまたはJAF地方ラリー選手権においてシリーズ3位以内に入賞した経験がない者であること。
3. JMRC中部加盟クラブ員であり、かつ各クラブ代表者が責任をもてる者であること。
4. 1チーム2名限定とする。
5. 上記2. 3. 以外の者においても、所属する地域クラブ協議会の共済会もしくはそれに準ずる制度に加入していることを条件に参加を認める。
6. 20才未満の参加者は、親権者の承諾書を主催者に提出しなければならない。
7. 参加資格について疑義がある場合は、その証明責任は参加者にあるものとする。

<オープンクラス>

1. 2016年JAF発給の国内競技運転者許可証B級以上を所持していること。
2. 1チーム2名限定とする。
3. 20才未満の参加者は、親権者の承諾書を主催者に提出しなければならない。

第14条 参加台数および参加受理

1. 総参加台数は60台までとする。
2. 組織委員会は国内競技規則4-19に従い、理由を示すことなく参加を拒否する権限を有する。この場合参加料等は事務手数料2,000円を差し引いて返還される。
3. 参加不受理および各参加者都合による参加申込取消しの場合は、事務手数料2,000円を差し引いて参加料等を返還する。
4. 正式受理後の参加料はオーガナイザー都合での競技会中止を除き返還されない。

第15条 参加申込および問合せ先(大会事務局)

1. 参加申し込み及び問い合わせ先(大会事務局)
〒473-0908 愛知県豊田市宝町玉泉80番 (有)エスアールエス内
シロキヤラリー事務局
TEL:0565-28-6524 13:00~20:00 (水曜日を除く)
FAX:0565-29-9466

2. 提出書類

1. 参加申込書 2. 車両申告書 3. サービス申込書 4. 本規則書付則に添付のレッキ誓約書
5. ラリー競技に有効な自動車保険(任意保険)証券の写し(保険の加入条件がわかるもの)
6. 振込明細書または振込領収書の写し
7. 宿泊要望書

3. 参加料

- 地区戦: 60,000円(レッキ、土曜1泊2食含む; 1台につき)
チャレンジ: 40,000円(レッキ、土曜1泊2食含む; 1台につき)
オープン: 58,000円(レッキ、土曜1泊2食含む; 1台につき)
サービス車両登録: 1,000円(1台につき; 各クルーあたり1台登録可とするが、区画に制限があるため台数調整を行うことがある)

サービスクルー登録：8,000円(土曜1泊2食含む；1名につき)

注意事項：サービスパークは国定公園内のスキー場施設である為、車中泊・車外での火気使用を禁止する。宿泊時の食事に飲料代は含まない(本年は懇親会を実施しません)。

4. 参加料金の支払方法

参加料は参加申込書とともに現金書留で郵送するか、下記の預金口座へ振込によって支払うこと。なお、振込によって支払う場合は、振込明細票または振込領収書の写しを参加申込書に同封すること。

豊田信用金庫 ^{つちほし}土橋支店 普通口座 0250390
チームシロキヤ 代表 金子邦敏(カネコクニトシ)
↑間違えないように

参加申込にかかるすべての郵送料および振込手数料は参加者負担とする。郵送料および振込手数料を参加料金から差し引かないこと。

振込によって支払いの場合、提出書類(第15条2.)の書類の原本は郵送にてエントリー締切日までに大会事務局に到着しなければならない。

6. 参加申込受付期間：2016年9月2日(金)～2016年9月16日(金)

第16条 保険

ラリー競技開催規定第6条に基づき、ラリー競技に有効な対人賠償保険5,000万円以上、対物賠償保険200万円以上(免責10万円以下)、搭乗者保険(または共済等これに相当する制度)500万円以上に加入のこと。なお、JMRC中部加盟クラブ員についてはJMRC中部ラリー互助会加入での出場を認める。

第17条 レッキの実施方法

1. レッキ受付

日時：2016年10月1日(土)8:00～8:30

場所：愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場

2. ドライバー、コ・ドライバーは、レッキタイムスケジュールに従いレッキに参加すること。
3. レッキタイムスケジュールおよび実施についての詳細はレッキ指示書にて示す。
4. 各クルーは、レッキ中、左リヤサイドウインドウにレッキゼッケンを貼付すること。
5. 各クルーは各スペシャルステージを最大2回走行することができる。但し、同じ区間を重複使用するスペシャルステージは1つのステージとして、1ヶ所で2回の走行とする。
6. スペシャルステージ区間内では指示された方向に従って走行すること。逆走を禁止する。
7. レッキに競技車両を使用することを認める。
8. レッキのタイムスケジュールに定められた時間外の走行はいかなる場合も禁止する。これに違反した場合は大会審査委員会によって罰則が課せられる。また、レッキ以外での愛知県北設楽郡豊根村及び設楽町内での本人または関係者の事前走行を禁止する。その事実が発覚した場合は、氏名を公表するとともにそのチームからの参加を一切認めない。
9. レッキの間、各クルーは交通法規を遵守しなければならない。さらに特別規則や公式通知で通知される、オーガナイザーからのいかなる指示にも従わなければならない。いかなる場合も他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。オフィシャルはレッキのルート上で競技車両を目視、計測機器、写真、ビデオ等によって監視することがある。全ての違反は大会審査委員会に報告される。

第18条 タイムコントロール

1. 公式時刻は日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。
2. 地区戦のTC5Bについては、早着によるタイムペナルティを与えない。
3. チャレンジはTC3Aを最終タイムコントロールとする。

第19条 スペシャルステージ

1. 公式時刻は日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。
また、フライングフィニッシュでは1/10秒まで計測とする。
2. スタートはスタートリスト順または直前のTC通過順に1分間隔とする。

3. SS2、SS3、SS5については基準所要時間を30分とし、これを超えてフィニッシュラインに到達せずコースにとどまる車両はリタイヤ扱いとする。
4. スタートの方法および合図は、ラリー競技開催規定付則:スペシャルステージラリー開催規定第25条5. に従う。

第20条 整備作業

1. 整備作業の監督を担当する競技役員: 技術委員長 小林 成広
2. 整備作業をできる場所: 愛知県北設楽郡豊根村 茶臼山高原スキー場第1駐車場
3. サービスパークには競技車両の他には登録されたサービスカー以外は入場出来ない。サービスカーは参加申込時に登録され、サービス車両であることを示すプレート(サービスカー登録証)を表示していなければならない。
4. 整備作業の範囲
 - (1)タイヤの交換
 - (2)ランプ類のバルブの交換
 - (3)点火プラグの交換
 - (4)Vベルトの交換
 - (5)各部点検増し締め
5. 上記以外の整備作業を行なう場合、所定の整備申告書に記入し、競技会技術委員長の許可を得ること。作業後は整備申告書を必ず提出すること。
6. 整備作業を行なうことができる者は、当該車両の乗員および登録されたサービスクルーとする。
7. 整備作業は、必ずシートを敷いて行ない、サービスパークの美化に努めること。

第21条 賞典

- | | |
|-----------|--------------------------|
| DE-6クラス | 1~3位: JAFメダル・副賞 |
| DE-4,5クラス | 1~3位: JAFメダル・副賞、4~6位: 副賞 |
| DE-3クラス | 1~3位: JAFメダル・副賞 |
| チャレンジクラス | 1~3位: JAFメダル、主催者賞 |
| オープンクラス | 1~3位: JAFメダル、主催者賞 |
- なお参加台数によって、JAF盾を除き、各クラス参加台数の30%程度を目安に賞典を制限する場合があります。この場合の正式な賞典内容は、公式通知にて示す。

第22条 成績

1. 各スペシャルステージにおける所要時間とペナルティタイムとを積算し、合計所要時間の少ないものを上位とする。
2. 合計所要時間が同じとなった場合は、ペナルティタイムの少ないものを上位とする。ペナルティタイムの比較によっても順位が決まらない場合は、SS1の所要時間の少ないものを上位とする。これによっても順位が決まらない場合は、以下SS2、SS3と順に比較する。

第23条 付則

1. 本共通規則の適用は、各競技会の参加申し込み受付と同時に有効となる。
2. 本特別規則に記載されない競技に関する細則は、国内競技規則とその付則、国際モータースポーツ競技規則とその付則、ラリー競技開催規定とその付則JMRC中部ラリー共通規則ならびにJMRC中部ラリーシリーズ戦規定に従って開催される。
3. 本規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。
4. 本競技会にて使用されるコースの肖像権は主催者に帰属する。

暫定ラリー行程表

第32回 シロキヤラリー in 豊根 (地区戦)

ITINERARY(ラリー行程表)

2nd Oct. '16

TC	Location	SS	Liaison	Total	Target	Ave.	First car
SS	場所	SS	リエゾン	区間	目標	平均速	1号車
Section 1		km	km	km	hour:min	km/h	hour:min
TC0	Chausu (茶臼山高原)						7:00
TC1	Kamikurokawa (上黒川)		13.129	13.129	0:24	32.8	7:24
SS1	MakiKami lg	5.617	(0.258)	(0.258)	0:03	-	7:27
TC2	Before Gone		13.856	19.473	0:35	33.4	8:02
SS2	Gone	11.962	(0.270)	(0.270)	0:03	-	8:05
TC3	After Gone		4.023	15.985	2:08	7.5	10:13
SS3	Come Back	11.978	(0.148)	(0.148)	0:03	-	10:16
TC3A	Service in (茶臼山高原)		21.339	33.317	1:02	32.2	11:18
TC3B	Service out / Regroup in				0:30	-	11:48
Sub Total		29.557	53.023	82.580	4:48	-	-
Section 2							
TC3C	Regroup Out				0:15	-	12:03
Refuel Toyone-Auto	to refuel	29.557	59.923	89.480			
	Refuel to TC5B	17.579	57.878	75.457			
TC4	Kamikurokawa (上黒川)		13.016	13.016	0:44	17.7	12:47
SS4	MakiKami lg	5.617	(0.258)	(0.258)	0:03	-	12:50
TC5	Before Gone		13.856	19.473	0:35	33.4	13:25
SS5	Gone	11.962	(0.270)	(0.270)	0:03	-	13:28
TC5A	After Gone		4.023	15.985	1:22	11.7	14:50
TC5B	Chausu (茶臼山高原)		33.355	33.355	1:02	32.3	15:52
Sub Total		17.579	64.778	82.357	4:04	-	-
Grand Total		47.136	117.801	164.937	8:52	-	-

第32回 シロキヤラリー in 豊根 (チャレンジ)

ITINERARY (ラリー行程表)

2nd Oct. '16

TC	Location	SS	Liaison	Total	Target	Ave.	First car
SS	場所	SS	リエゾン	区間	目標	平均速	1号車
Section 1		km	km	km	hour:min	km/h	hour:min
TC0	Chausu (茶臼山高原)						7:00
TC1	Kamikurokawa (上黒川)		13.129	13.129	0:24	32.8	7:24
SS1	MakiKami lg	5.617	(0.258)	(0.258)	0:03	-	7:27
TC2	Before Gone		13.856	19.473	0:35	33.4	8:02
SS2	Gone	11.962	(0.270)	(0.270)	0:03	-	8:05
TC3	After Gone		4.023	15.985	2:08	7.5	10:13
SS3	Come Back	11.978	(0.148)	(0.148)	0:03	-	10:16
TC3A	Service in (茶臼山高原)		21.339	33.317	1:02	32.2	11:18
Grand Total		29.557	53.023	82.580	4:18	-	-

CRO

CRO



香川 秀樹

電話：別途公式通知もしくはブリーフィングにて連絡する。

CRO行動スケジュール(予定)

10月1日(土): HQ、サービスパーク周辺

10月2日(日): HQ、サービスパーク、表彰式会場周辺

2016年JAF中部・近畿ラリー選手権 第6戦
2016年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ 第4戦
2016年JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ 第4戦
第32回 シロキヤラリー in 豊根

レッキ誓約書

私はレッキ参加に当たり、当該レッキは競技会ではないこと、レッキ中は道路占有許可を取っていないためにコース内で対向車が来る可能性があること、を理解し、交通法規、走行マナー、本大会特別規則書およびレッキ指示書を遵守し、かつ地元車両や工事車両等を最優先させて走行することを誓約致します。また、関連して起こった死亡、負傷、その他の事故で私自身及び同乗者の受けた損害について、決して日本自動車連盟、主催者及び大会役員、大会関係者並びに他の競技者に対して非難したり、責任を追及したり、損害賠償を要求したりしないことを誓約致します。なお、このことは事故が上記主催団体または大会役員の手違いなどに起因した場合であっても変わりません。シロキヤラリー参加者の内、1台でもレッキ中に事故を起こした場合は、競技会そのものを中止する事に同意し、参加料の返還も請求いたしません。

上記内容に従って、レッキへの参加を申込みます。

年 月 日

ドライバー 署名 _____ 印

年 月 日

コ・ドライバー 署名 _____ 印